

2025年度 放送番組審議会 議事録
(株式会社ジェイコム九州 熊本局)

日時：2026年2月13日(金) 16:00~17:15

場所：株式会社ジェイコム九州 熊本局 会議室

出席者：

- (会長) 宮園 博光 …熊本県立大学総合管理学部 教授
(副会長) 羽野 晋之介 …株式会社くまもとDMC 常務取締役
(委員) 内田 清之 …熊本県大津町 副町長
(委員) 坂井 木綿子 …株式会社地域情報センター (くまもと経済) マネージャー
(委員) 黒木 善一 …熊本市経済観光局 局長

(以上5名、敬称略、会長・副会長以下順不同)

事務局：

株式会社ジェイコム九州	代表取締役社長	上村 忠
	常務取締役	植野 幸恵
	熊本局局长	麻沼 茂岐
	地域コミュニケーション統括部長	上妻 栄太
	地域コミュニケーション統括部	濱 孝太郎
JCOM 株式会社 映像制作部	九州リージョナルマネージャー	出貝 仁洋
	熊本チーム拠点長	橋本 和信

1. 開会の挨拶 (株式会社ジェイコム九州代表取締役社長 上村 忠)
年に一度の貴重な機会ですのでご意見を賜りたくよろしく申し上げます。

2. 番組審議会 審議委員紹介
(委員)

本日は委員5名全員が出席。

放送番組審議会規程第4条に基づき、2分の1以上の委員の出席。

当会は成立しました。

3. 会長、副会長の選任

(委員)

審議会規程第3条3項に基づき会長、副会長を新たに選任したい。

(委員)

会長に宮園委員、副会長に羽野委員を推薦したい。

(委員一同)

異議なし。

議事進行(宮園会長)

他薦のうえ異議なしということで、会長に宮園、副会長に羽野委員を選任します。

また、今年度における自主番組放送基準等の変更はなしとします。

4. 議題1 J:COMチャンネル熊本 2025年度自主制作番組について

(1) J:COMチャンネル説明

(2) 2025年制作方針説明

(3) 前回2024年度の審議を受けた改善点報告

(4) レギュラー番組 紹介

(5) 特別番組 紹介

5. 意見交換(レギュラー番組・特別番組について)

(委員)

最近は、Xなど(ショート動画)が中心になっている中、数秒で視聴者が離れてしまうと思う。

番組制作の変更点は?

(事務局)

冒頭でキャッチーな映像を入れ、チャンネル離れを防ごうと工夫している。

トピック全体の長さも短くなりつつある。

(委員)

情報源はどういうところからか。また、情報を発信したい場合はどうすれば?

(事務局)

行政情報は広報室からのメールなどを確認し取材している。

直接JCOM制作部への取材依頼もある。

(事務局)

細かな行政サービスなどを紹介しようと始めた番組が「ざ QCLASS」。

依頼があれば番組化を検討する。

また、自治会と連携として、JCOMが開発した、スマホを活用した「電子回覧板アプリ」など自治会に広げている。行政の情報なども、双方向化が可能なアプリだ。

(委員)

熊本の歴史を紹介する番組があと、番組を見た視聴者に地元愛が生まれ、視聴継続につながると思う。

また、天草ケーブルテレビの「爆旅道中記」を放送しているように、他のケーブルテレビと連携した取り組みは他にあるのか

(事務局)

現在、歴史番組の取り扱いはないが、「街歩きイベント」など取材することで歴史的なネタを紹介するなど工夫している。

他のケーブルテレビ局連携については、例えば、九州ケーブルテレビ連盟主催の番組コンクールの優秀賞獲得作品を放送し連携をしている。

(事務局)

JCOM で制作した番組の販売を積極的に行い、ケーブルテレビ局の連携を深めたいとも考えている。

(委員)

昨年の審議会でも発言あったが、TSMC などの影響で熊本は外国人が増加している。

中でも大津町に在住する外国人は、年々増えており、地域の情報を欲しがっている。

外国人向けの番組を作ってみるのは？

(事務局)

本年度制作した番組「What is “HINAN”？ ～外国人と防災 熊本地震からの教え～」はまさに外国人の防災をテーマに制作。今後も皆さんと一緒に、考えていきたい。

(委員)

外国人増加による多言語化は避けて通れない。考える必要がある。

(委員)

益城町花火は生中継で見た。邪魔が入らない心地よさが良かった。

特等席で見ているようだった。

(事務局)

無駄な演出をはぶき、映像美に拘って制作している。

(委員)

過去制作した番組や貴重な資料映像などアーカイブが必要と思う。
後でアクセスできるような方法があると良い。

(事務局)

現状は番組のインデックス化ができていない。今後の課題です。

(委員)

JCOM 安心安全課は有意義な番組。多種多様な防災に関する情報を届けるのは良い。
行政としても参考になるし、地元でも流れると良いと思う。

(事務局)

熊本の防災対策など、安心安全な情報が全国の方にも届けばよい。
災害が起きる前、起きた後の情報発信を継続的にしていきたい。

(委員)

防災などに対する興味関心は全国の自治体にある。

(委員)

熊本地震から 10 年。熊本市としては、一年を通じて、全国へ感謝を伝えることと、
次世代につないでいくという理念で行う予定。ぜひ取材してほしい。

6. 議題 2 自主制作番組審議番組「ジモトピックス～熊本～」

(委員)

バラエティに富んでいて、行きたいと思わせてくれる。
ただ、過去の映像が多く開催中なイベントを紹介してもらえるとさらに良いと思う。

(事務局)

視聴者の皆様へお知らせの意味でも取材告知を行い撮影に伺うなど検討する。

(委員)

ナレーションが聞き取りやすい。
取材場所の地図があると、よりイメージしやすくなると思う。

(委員)

映像にあった「六殿神社秋季例大祭」は、氏子地区が 17 地区あり、担当する流鏝馬は 17 年に
一度しか回ってこない輪番制。そういった歴史風土まで、カバーした情報があると良い。

(委員)

地域のお祭りなども担い手不足で継続が難しい状況がある。
放送で注目してもらえると地域文化の継承に貢献できると思う。

(委員)

地元企業のイベントなどピックアップしてほしい。

若い学生にとっては、地元企業を見られるのが良いと思う。

(事務局)

取り扱いは少ないが、今後も内容を検討し取材を続ける。

(委員)

合志市須屋区の「子供ロボット相撲大会」は、参加した児童が自分で考えたプログラムとギミックでロボットを作っていた。

半導体などで熊本は盛り上がるので、このようなイベントを紹介することは意味がある。

(委員)

スポーツはどのような流れで取り上げている？

(事務局)

特にマイナースポーツに力を入れており、女子バレーのVリーグやアメフト九州リーグなど取材を行っている。

(委員)

出場選手数が多い競技であるほど、告知効果が期待できると思う。

(委員)

以上を持ちまして放送番組審議会を終了する。

7. 閉会の挨拶（株式会社ジェイコム九州熊本局局长 麻沼 茂岐）

引続き多くの方々に地域の新鮮な情報を提供していきたい。

活発な審議ありがとうございました。

以上